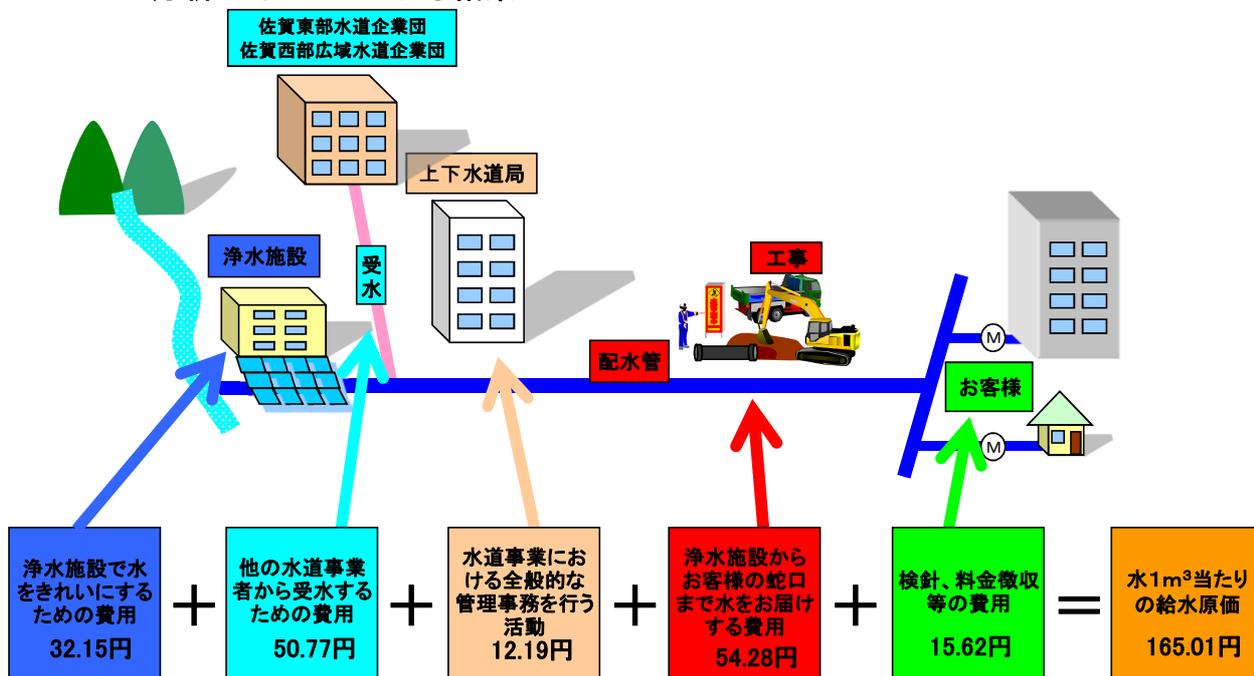


ABC分析結果（水道事業） （令和2年度現在）

※令和2年度決算（令和2年4月1日～令和3年3月31日）数値より

1. ABC分析のイメージによる結果



ABC分析給水原価(単位:円)

年間有収水量 20,435,714m³

	給水原価(円)	税抜額(円)	割合
浄水施設で水をきれいにするための費用	32.15	657,075,415	19.5%
他の水道事業者から受水するための費用	50.77	1,037,531,120	30.8%
水道事業における全般的な管理事務を行う活動	12.19	248,981,844	7.4%
浄水施設からお客様の蛇口まで水をお届けする費用	54.28	1,109,311,780	32.9%
検針、料金徴収等の費用	15.62	319,116,293	9.4%
計	165.01	3,372,016,452	100.0%

ABC分析による
水1m³当たりの給水原価
165.01円



水道事業における
全般的な管理事務を
行う活動費用
12.19円
(7.4%)

検針、料金徴収
等の費用
15.62円
(9.4%)

浄水施設で水をきれい
にするための費用
32.15円
(19.5%)

他の水道事業者から
受水するための費用
50.77円
(30.8%)

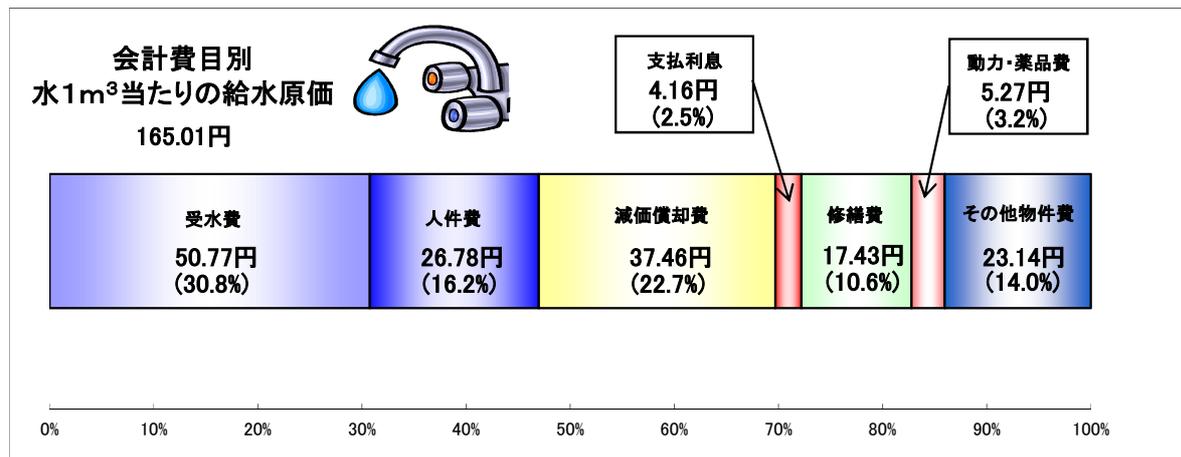
浄水施設からお客様の蛇口
まで水をお届けする費用
54.28円
(32.9%)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

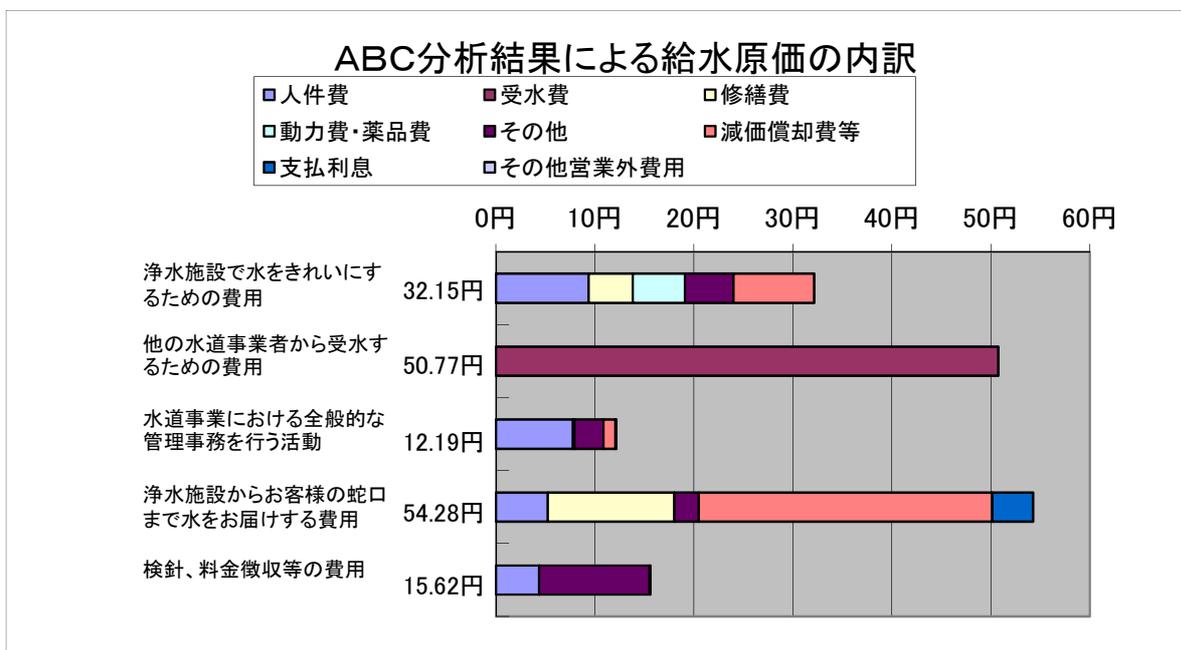
2. 参考

会計費目別給水原価(単位:円)

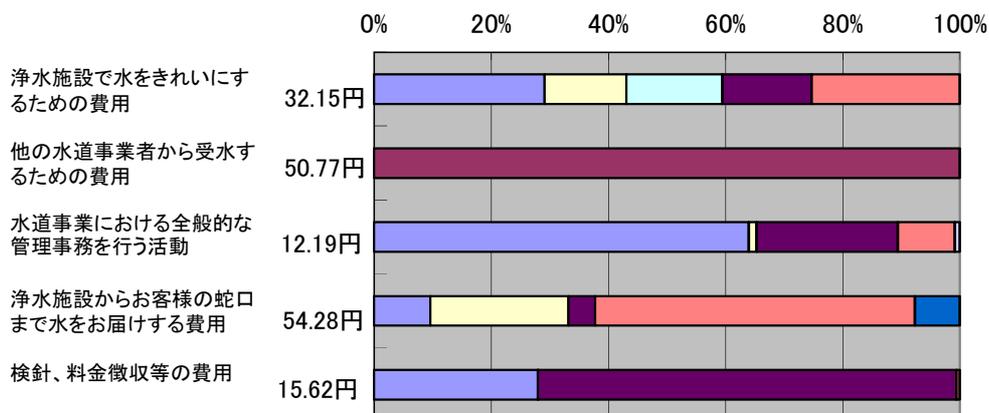
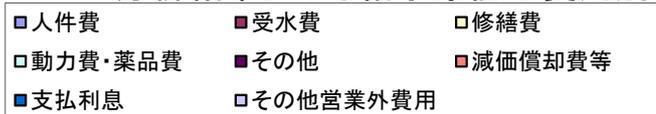
	給水原価(円)	税 抜 額 (円)	割合
受水費	50.77	1,037,531,120	30.8%
人件費	26.78	547,224,546	16.2%
減価償却費	37.46	765,507,649	22.7%
支払利息	4.16	84,936,394	2.5%
修繕費	17.43	356,139,139	10.6%
動力・薬品費	5.27	107,667,036	3.2%
その他物件費	23.14	473,010,568	14.0%
計	165.01	3,372,016,452	100.0%



3. ABC分析グラフ



ABC分析結果による給水原価の費用別割合



【分析結果】

給水原価は本年度165.01円で、「浄水施設からお客様の蛇口まで水をお届けする費用」が給水原価の32.9%、「浄水施設で水をきれいにするための費用」が19.5%と、これらの費用で全体の約半分(52.4%)を占めています。また、「他の水道事業者から受水するための費用」が30.8%となっています。

給水原価を構成する会計費目では、受水費(30.8%)や減価償却費(22.7%)、人件費(16.2%)の順で割合が高くなっています。

水道事業は「装置産業」と言われ、資産のほとんどが配水・給水施設(お客様の蛇口まで水を届けるための施設)や浄水施設(水をきれいにするための施設)で占められています。そのため、これらの施設に係る減価償却費や施設の維持管理のための人件費、修繕費などの割合が高くなります。

今後も、施設の老朽化に伴う改築・修繕経費や、耐震化などの災害対策経費の増加が見込まれますが、安全で安心な水道水の供給を途切れることなく続けていくため、「上下水道ビジョン」及び「水道事業経営戦略」に基づいた効率的な事業経営を進めていきます。